

平成29年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立浦和高等学校)

s 47

目指す学校像	中高一貫教育の特性を生かした特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志を持った生徒を育成する。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 中高一貫教育校の特性を活かした質の高い学びを展開する。 2 「文武両道」の理念に立ち、バランスの取れた教育活動を進めるとともに、第1志望の進路を実現する。 3 国際理解教育の充実と開かれた学校づくりの推進を図る。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	18名

学校自己評価							
年度目標				年度評価(2月1日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>中高一貫教育校の特性を活かした教育活動を進め、内進生と高入生が相互に切磋琢磨し、学力の向上が図られている。また、「チーム市立浦和」の合言葉の下、中高の連携強化が推進されてきている。</p> <p>一方で、学習指導要領の改訂や高大接続改革等を踏まえ、本校生徒に身につけさせたい力を明確にし、授業改善や教科指導の見直し等に取り組み、より質の高い学びを充実させる必要がある。また、教員の研修を奨励し、指導力の一層の向上を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫教育の特性を活かした指導の充実。 ・中・高連携体制の一層の強化 ・学習指導要領や高大接続改革への対応の検討 ・教員の指導力の向上と質の高い学びの充実 	<ol style="list-style-type: none"> ①中高教員の連携を密にし、生徒の状況の共有化により、中高の望ましい接続を図る。 ②内進生、高入生の望ましい学級編成や六年間を見通した教育課程の具体的な方向性を検討する。 ③次世代シラバス検討・学力向上委員会が連携し、次期学習指導要領や高大接続改革に対応した学校指導方針を構築する。 ④教員研修を充実させ、授業改善並びに質の高い教科指導を実践する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①中高合同の会議・研修会等の実施回数が増加したか。 ②生徒アンケートの「中高連携はうまくいっているか」の肯定的回答が前年比上昇したか。 ③次期学習指導要領・高大接続改革を踏まえた検討が進められたか。 ④教員研修が充実したか。 ⑤生徒アンケート「先生方の授業はわかりやすいか」の肯定的回答が前年比上昇したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①中高合同職員会議 11回、中学校教育相談会議への参加3回、中高合同研修会2回(5月、7月)、高校新1年と旧中3学年団の連絡会議を2回実施した。 ②肯定的な回答が前年比 0.4ポイント上昇した。 ③高大接続に関する本校の取組をまとめ、学校説明会等で配布した。 ④年3回教員研修を実施した。 ⑤前年比-3.5ポイント減少している。 	B	<ol style="list-style-type: none"> ①中高接続を円滑にする生徒個々の詳しい情報共有の取組は、大いに役立ったので次年度も継続したい。 ②結果が現れたので継続。 ③高大接続改革を踏まえた本校独自の取組について、をさらに研究を深める。 ④教員が研修に参加しやすい環境を整える。 ⑤アンケート結果を重く受け止め、授業改善を重点的に推進することが課題である。
2	<p>生徒や保護者の要望に応える高いレベルの授業や計画的な進路指導を展開し、難関大学等への進学実績の向上が見られる一方、最後まで諦めずに、第1志望への進学を目指す高い志と強い意志を育む必要がある。</p> <p>部活動や学校行事へ積極的に取り組み成果を上げており、引き続き「知・徳・体」のバランスの取れた人間形成を進める必要がある。一方で、行事の在り方の見直しや、取り組み方法の改善、教職員の指導協力体制の改善など、より実効的で効果的な方法を継続的に検討していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的・組織的な進路指導の実施 ・生徒・保護者と連携した、個に応じた指導の充実 ・部活動や学校行事における生徒の活動の奨励と、学校全体を見通した効果的な在り方の再検討 ・生徒指導の充実・徹底 	<ol style="list-style-type: none"> ①学力向上委員会と連携し、進路指導部を中心に系統的・計画的な進路指導を遂行する。 ②生徒・保護者のニーズに応えた進路関連情報の的確な提供と第1志望を諦めない進路指導を充実させる。 ③部活動の推奨と活動を支援。 ④学校行事の内容的充実と行事の効果的な精選の検討を図る。 ⑤基本的な生活、安全指導、いじめ防止等に積極的に取り組み、生徒の社会性の向上を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①センター試験の受験率・得点状況が前年比上昇したか。 ②国公立大学や難関大学、医学部などの合格者数は増加したか。 ③部活動加入率の向上と、顕著な活動実績があったか。 ④行事の精選が図られたか。 ⑤保護者アンケートの「生徒規律」に関する各項目の肯定的回答が前年比上昇したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①受験率は前年度と全く同じ数値の96.5%で、得点状況も県内トップクラスである。 ②増加が見込まれる。 ③加入率は良好、インター外部が全国初の三回目となる世界大会出場を決め、陸上部の関東大会金賞などが顕著な実績。 ④体育祭のプログラムを生徒・教員で協議を重ね、改善した。また、PTA交通安全指導では、保護者の負担軽減の観点から、日数を縮減した。 ⑤ほぼ横ばいの値となった。 	A	<ol style="list-style-type: none"> ①今後ともデータ分析による計画的・組織的な進路指導を推進する。 ②市教委の施策に基づいて第一希望の合格率の向上をさらに推進する。 ③高いレベルでの学習と部活動の両立は、本校の教育理念である。 ④安心・安全な学校行事の実施と、高大接続改革を踏まえた行事の精選、見直しが課題となる。 ⑤服装などで注意を受ける生徒はほぼ皆無である。
3	<p>米国リッチモンド市の姉妹校との交流や海外修学旅行の実施、留学、部活動選抜選手の海外遠征など、多彩な国際交流活動を展開している。</p> <p>一方で、不安定な国際情勢を踏まえ、安全を確保しつつ、広い視野と高い英語力、国際感覚を身につけた、国際社会に貢献できる人材の育成を追求する必要がある。</p> <p>ホームページの充実や土曜公開授業、学校説明会、中学校訪問などの機会を活用した本校の教育活動の積極的な発信が求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育の推進 ・実施上の安全確保の徹底 ・学校情報の積極的な発信と地域連携の推進 ・生徒募集の充実 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の安全確保を前提に、海外修学旅行や姉妹校との相互交流、留学生の受け入れ及び派遣などの多様な国際交流の機会提供を推進する。 ②ニーズに応えたホームページの改善と学校情報の積極的な発信を進める。 ③土曜公開授業や学校説明会の内容の充実と中学校訪問及び上級学校訪問などにおける生徒募集活動を積極的に取り組む。 	<ol style="list-style-type: none"> ①国際交流活動等の取組の実施回数及び内容の充実が図られたか。 ②ホームページの閲覧件数の上昇がみられたか。 ③土曜公開授業、学校説明会の参加者数とアンケートの満足度が上昇したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①リッチモンド市姉妹校との交流及び海外修学旅行を実施した他、新たな取組としてグローバル海外研修を企画中である。 ②前年比セッション数 42,974件増、ユーザー数 14,855件増。 ③土曜公開授業の来校者は126人減。学校説明会は、学習塾対象説明会を2件増やした。アンケートの満足度は上昇した。生徒募集活動では、来年度1クラス増にあって、1月12日新聞発表の進路希望調査では、前年とほぼ変わらぬ数値となった。 	A	<ol style="list-style-type: none"> ①グローバル高校との交流は、実績を積み重ね本校の魅力の一つとして定着している。新たなプログラムにも期待したい。 ②ホームページを一層充実させるためにも全ての教員が情報掲載できるよう情報スキルの向上を図りたい。 ③土曜公開授業の来校者数はやや減ったが、志願倍率は変わらなかった。これは、教員が直接中学校を訪問するなどの地道な生徒募集活動の成果が表れた。

学校関係者評価
実施日 平成30年 2月 9日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> ・合同職員会議が頻繁に開かれている点は非常に高く評価される。 ・目標への達成意欲を持ち、自己啓発する姿勢の強さが必要であり、真剣に取り組む人に育って欲しい。 ・このシートから学校の一体感が伝わる。 ・生徒は授業でわからないことがあったらそのままにせず、教員は理解できていない生徒を置き去りにしないことが大切である。 ・後援会として、先生方の研修を支援しているが、環境整備が課題である。 ・アンケートの「先生方の授業は分かりやすいですか。」という項目を評価したい。 ・中高連携はうまくいっているかという生徒アンケートの結果が向上している。
<ul style="list-style-type: none"> ・行ける大学でなく、行きたい大学というスローガンは重要である。大学全入時代であるからこそ真剣に考えるべき。 ・周辺の小中学校から見た市立浦和高校は、魅力ある学校と思う。だが、入るのが難しい学校である。 ・インターアクト部の活躍など、コミュニケーション能力の教育への先進的な取組が期待される。 ・志願倍率が2倍を超えると、公立としては二の足を踏む中学生もいる。以前、中学受験は多くはなかったが、6年制ということは小学生の保護者の間で魅力となっている。 ・進路指導・学習満足度の評価などは学年毎の数値が大変気になる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを見ると、部活によってよく更新している部とそうでない部が見られる。せっかくのホームページなのだから部活の状況がもっとわかることが望ましい。 ・リッチモンド市姉妹校派遣の他に新たに取組むプログラムには大いに期待したい。 ・骨を丈夫にすることをはじめ、体づくりのためには、栄養面の他に負荷を与えた運動が必要と考える。 ・学校内外で目にするのが、生徒同士の規範意識を高める声掛けは微笑ましい。 ・英語の授業のレベルが高いので、満たされていない生徒もいるようだ。そうした生徒にも対応しうる進学校に見合った指導をして欲しい。